

宮城県感染症発生動向調査情報(第36週)

宮城県【平成25年09月12日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

- 2013.9.2 ~ 9.8 ・ 第36週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第33週	第34週	第35週	第36週
水痘	1 0.20	4 0.40	2 0.40		3 1.00	1 0.20	1 0.50	9 0.35	21 0.36	2,551	○→	○→	レ→	
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50	2 0.67	2 0.40	1 0.50	6 0.23	13 0.22	829	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	16 3.20	17 1.70	9 1.80	10 5.00	14 4.67	4 0.80	1 0.50	46 1.77	117 2.02	12,254	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	25 5.00	46 4.60	46 9.20	19 9.50	13 4.33	22 4.40	11 5.50	142 5.46	324 5.59	2,687	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑	1 0.20	1 0.10	2 0.40					1 0.04	5 0.09	459	→	→	→	
突発性発しん	4 0.80	8 0.80	4 0.80	1 0.50	3 1.00	7 1.40	1 0.50	15 0.58	43 0.74	1,339	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	9 1.80	12 1.20	17 3.40	8 4.00	10 3.33	14 2.80	3 1.50	42 1.62	115 1.98	1,741	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱	2 0.40							6 0.23	8 0.14	660	レ→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	114	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	11 1.10	1 0.20	1 0.50	4 1.33	17 3.40		20 0.77	58 1.00	3,686	○→	○→	○→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	9	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 1.00	5 5.00	1 0.20	8 0.67	681	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	5 1.00	2 0.20	1 0.20			3 0.60		18 0.69	29 0.50	519	レ→	レ→	○→	○
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2 4					5 4	4		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病							1	1		【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							7	7					

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第34週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.57)、福井県(0.06)、岐阜県(0.06)、島根県(0.03)である。
RSウイルス感染症: 報告数は1,281例と横ばいであった。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.09)、大分県(2.39)、宮城県(2.00)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.68)、山口県(1.26)、山梨県(1.13)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(7.81)、島根県(6.00)、宮城県(5.94)である。**水痘**: 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(1.72)、宮城県(1.22)、福岡県(1.09)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(10.39)、長野県(9.04)、山梨県(7.50)である。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(0.69)、宮城県(0.16)、沖縄県(0.15)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山梨県(0.17)、高知県(0.10)、大分県(0.06)、沖縄県(0.06)である。**ヘルパンギーナ**: の定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(4.66)、青森県(4.49)、山形県(3.79)である。**流行性耳下腺炎**: 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は福井県(1.27)、高知県(0.77)、福島県(0.76)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.58)、群馬県(1.25)、福島県(1.14)である

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

*男児、女兒は6歳未満

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名(第25週)
男性1名、女性1名

大崎管内 女兒 1名

気仙沼管内 男性1名

仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

栗原管内 男性1名

仙台管内 男性2名

腸管出血性大腸菌感染症(O121)

石巻管内 女性1名

腸管出血性大腸菌感染症(O103)

仙台管内 男性1名、女性1名

女兒 2名(関連)

腸管出血性大腸菌感染症(O111)

仙台管内 女性1名、男児 8名、女兒*6名(集団発生)

4類感染症: 報告なし

5類感染症: ウイルス性肝炎(B型)

仙南管内 女性1名

梅毒

仙台管内 男性1名

風しん

仙台管内 女性1名(臨床診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]

全管内で警報継続中。

[ヘルパンギーナ]

石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

手足口病患者より

塩釜管内 第34週採取分 コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子 2件

第35週採取分 コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子 1件

気仙沼管内 第34週採取分 コクサッキーウイルス(A6型) 遺伝子 2件

第35週採取分 コクサッキーウイルス(A2型) 遺伝子 1件

ヘルパンギーナ患者より

気仙沼管内 第35週採取分 コクサッキーウイルス(A5型) 遺伝子 1件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第33週採取分 サボウイルス 1件

腸管出血性大腸菌感染症患者より

仙南管内 第35週採取分 腸管出血性大腸菌O26 1件

石巻管内 第35週採取分 腸管出血性大腸菌O121 1件

腸管出血性大腸菌O103 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第34週採取分 第35週採取分 第36週採取分

(8.19～8.25) (8.26～9.1) (9.2～9.8)

RSウイルス 4件 3件 2件

サイトメガロウイルス 1件 0件 1件